

高砂市議 一人会派 緑の党グリーンズジャパン



井奥まさきの市政ニュース

2015.1

[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9
Tel 079-444-2343 Fax 444-2418
E-mail: ioku3@gmail.com
http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも
ツイッター: @ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」
でweb検索を

(月刊+: 1月上旬号 通算 98号)

地方創生

2015年は地方創生に向け都市戦略を議論しましょう!

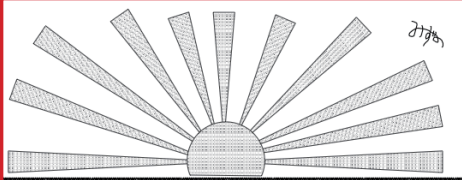
高砂市議 井奥まさき

付金もこうした基本戦略に沿ったもので受けるべきです。

戦略づくりは「市民」を基本に

総花的だと無駄な投資が増えます。私は「社会的流出入をプラスに」といったわかりやす目標のもと、市民参加でじっくりと都市戦略を議論し、選択・集中して投資をすべきと考えます。活気ある高砂市を作る中心はやっぱり「市民」です。他にも規制緩和や行政指導など「お金」によらず「制度」によって政策誘導する方式も重視すべきでしょう。

「居眠り自治体」から転換し、高砂市らしさのある活気ある自治体を作り上げましょう!今年もどうぞよろしくお祈りします。



居眠り自治体から抜け出せるか?

衆議院解散が決まった11月21日に地方創生関連2法が成立しました。これに対して、登市長が12月議会の冒頭で「総合戦略」づくりへの意欲を表明しました。珍しく素早い対応です。「総合戦略」は「地方創生法」の枠組みであり、国は12月27日に閣議決定で戦略を示しました。平成27年度(2015)中に兵庫県も高砂市も「地方戦略」を策定していくこ

とになります。「国からの指示待ち」を抜け出し、高砂市らしい地域の特性を活かすチャンスです。

エネルギー・子育てを軸に

12月議会での論戦で浮かび上がってきたのは「高砂市は社会的流出が多い」ということです。高砂市から出て行く人の方が他の市から高砂市に住む人よりも多く、そのために人口が減ってきているのです。

私の基本戦略案を述べます。エネルギー産業の育成により高砂市内に新しい雇用をつくります。なおかつ子育て充実で浜手の企業や市役所といった雇用数の多い事業体の従業員に高砂市に居住してもらいます。国の地方創生関係の交

受け取りも拒否します

厳しい生活を過ごす市民の信頼を失う提案と指摘しました。

追加支給された0.15カ月分や今後のアップ分は私は受け取りを拒否し、市外団体に寄附します。

期末手当 市長、議会議員の期末手当の値上げに反対

12月議会で「市職員の期末手当アップ」に連動して「市長や議会議員の期末手当0.15カ月アップ」が提案されました。人事院勧告という職員の制度にあわせて、

自分たちも追随しようとするのはオカシイと思ひ反対しました。

報酬等審議会にかけ手続きをしない「お手盛り」の提案でした。市長で十数万円のアップですが、

予算要望 2015年度予算に向けて要望書を提出

4月から実行される2015年度当初予算に向けて市役所に提案をしました。財政も考えて21項目に絞り、メリハリもつけました。2月に示される予算書で反映状況がわかります。詳しくはHPまで

○ [行財政改革・情報公開・市民参加]
市役所改革にむけた7つの要望 (1項目のみ抜粋)

- ・市民病院の将来像を市民参加の場で徹底議論し、示された将来像に必要な予算を措置すること
- <当面は軽微な予算、(将来的に)多大な予算>他にも市長の資産公開など
- [教育・福祉・まちづくり]
- 子ども子育て日本一の自治体への7つの要望 (項目のみ抜粋)
- ・中学校給食の公約年限(2020年度[平成32年]まで)での実

さて反映は?

- 施と暫定的な弁当制度の導入を<多大な予算>
- 他にも子育て世代の定住化策など
- [環境・雇用] エネルギー産業で仕事づくり、市の環境対策への7つの要望 (1項目のみ抜粋)
- ・高砂市のエネルギー実態の正確な把握と市のエネルギー政策の充実を<軽微な予算>
- 他にも節電技術の育成など

私は橋下氏批判の評論を全国誌に書いたりしていますが、それでも維新の「身を切る改革を」という主張には賛同します。馴れ合い打破が必要です。

今年3月には松波町のユーアイ福祉交流センター、来年2月には米田に図書館オープン 大型公共施設関係は一つの区切りを迎えます

子育て日記

手動の車の窓に感激 時代の移り変わりを感じますね



手でクルクル回せる、スゴイ！

車検のために代車を貸してもらった時でした。秋のまだ暑い時期だったので、子どもたちが窓を開けようとして「どうしたらいいの？」と悩んでいました。電動ではなく、手動で手でクルクル回して開けたら、「すごい」と感激。さらに「すごいね、車のエンジン止めても窓が閉められるよ」と二

人で騒いでいました。黒電話、ポケベル…知らないんだ別場所でも「黒電話」をしげしげと珍しげに眺めていました。「昔はね、ポケベルというのがあって」と言っても通じません。「自宅に電話がなくて、『呼び出し』というのがあって」と言い出すと「私も知らない」と商売人の娘だった妻が口をはさみます。家に商業電話があったんですね。待ち合わせもつい最近までは場所をしっか

り決めたり、伝言板を使用したりしました。選挙運動でも「声を頼りに宣伝カー探して合流を」とかいう時代だったんですが。

新しい時代はどんな時代かな

子どもたちは携帯電話やメールも使いこなします。下の息子もメールで連絡。妻の母親は「私でもできないのに」とびっくり。

大人になった時、どんな時代になるのかな。さて子どもたち、今年も話題を提供してください。

商業振興

図書館の指定管理先が決定 図書館長の5年雇用や引き継ぎを指摘

年度	平成26年度		平成27年度															
年	2015年											2016年						
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	市の教育委員会が運営			指定管理者が運営開始 (曾根地区の旧図書館からはじめ、新図書館の準備も) 市の教育委員会は図書館担当を配置												2月新図書館が米田に開設		

社を中心とした共同体が管理となります。しかし、その議論の中でも「丸ごと民営化」の問題点が見えてきました。例えば肝心の図書館長やチーフが「1年ごとの契約社員」だということです。基本的には無理があり、窓口の民営化程度の一部民営化にすべきでした

限いっぱい5年雇用)」や「引き継ぎ」を中心に細かくチェックし、市からは「相手業者に申し入れる」「市として担当者をきちんと置き、図書館の近くに配置する」との回答を得ました。

レファランス機能の向上、高砂市独自の資料収集や保存にも力を入れることも確認して委託先選定には賛成しました。今年4月からさっそく業者への引き継ぎになります。質の高い図書館になるようにチェックし続けます。

無理があった丸ごと民営化

市民待望の図書館が平成28年(2016)2月に開館します。新しい図書館は指定管理者制度という形で丸ごと民営化されます。12月議会では指定管理者先を決める提案がされました。ウェルネスパークなどの管理実績のある会

引き継ぎなどを議論

私や心配をする議員は「図書館長の固定化(指定管理者の契約期

商業振興

高砂町から西友撤退表明 高砂市が何ができるかを考えました

西友の輝く時代はどこに？

資料によると昭和51年3月だったそうですが、西友も入っているサンモールの開店は画期的でした。高砂市になかった「ケンタッキー」などファーストフードも珍しく、節目には有名な歌手もやってきました。伊保から私も自転車よく通ったものです。

その西友が昨年(2014年)春には撤退方針が決まっていたようです。12月議会での市長からの報告により、衝撃が走りました。

赤字続きだったそうで、全国的な赤字店閉鎖の一環だそうです。市・市議会と商工会議所・地元商店街などが申し入れ

情報のキャッチが遅かったのですが、市・市議会や商工会議所・地元商店街などの団体で西友に「せめて1F部分だけでも維持、もしくは後継テナントの早急な手当」を申し入れました。

西友側にしてみれば、地区全体に購買力がないという冷徹な判断なのでしょうが、高砂地区の高齢

者の買い物先になっていきますし、サンモール入店の専門店街にも影響が出ます。地権者が三菱倉庫・三菱製紙・西友と3つにわたり、建物の寿命問題も予測されて複雑な状況です。私の現時点の提案は以下の通りです。①せめて1階のスーパー部分を堅持②西友所有の2階3階部分は地元とも話し合っ

て市が何らかの支援をする③地域の購買力をあげる高砂地区の宅地開発計画もあわせて考える。1月には市議会で議論します。